

月刊 ゆがの通信

2018年12月号

発行：ゆがの薬局

日本国内の失明原因の第一位は「緑内障」 「星火晴明丹」で眼に早めのケアを！

緑内障が高齢化社会の問題

また医療が発達していない時代やサルファ剤やペニシリンなどの治療薬が開発されていない時代には伝染性のある病原菌に感染した角膜・結膜・虹彩などの外眼病患者には視力の低下や視力障害の方が多くみられました。現代では医療レベルや治療薬の進歩により眼疾患が早期に治療されるようになったため、感染症や白内障による視力障害や失明ははるかに減少しています。

一方で、日本国内の失明原因の第一位は緑内障です。緑内障は四十歳代で5%、七十歳以上で十一%が罹患している、発症率も高いという現状です。高齢化社会が進むにつれて緑内障患者数や失明者数が増加すると考えられており、緑内障から現代人の視力を保護することが新たな課題となっています。



緑内障には眼圧上昇の状態によって三つに分類されます。

急性緑内障

激しい頭痛、眼痛が突然発症し、眼圧上昇、眼の充血、嘔吐、急激な視力低下を生じます。

慢性緑内障

自覚症状はあまりありません。眼圧や病変が徐々に進行するので視力不良や視野縮小が見つかった時には視神経がすでに大きく損傷しています。

正常眼圧緑内障

日本人の緑内障の七割を占めます。自覚症状はほとんどなく、正常な眼圧でも視野が欠けて視神経に障害があります。正常眼圧緑内障は喫煙、過度の飲酒、ストレス、老化などが原因になり、眼の血液循環障害が起き、緑内障の発症と進行に関わっているとされます。緑内障は眼球を満たしている房水（ぼうすい）が詰まってしまい、排出できずに溜まってしまつと眼圧が上がって視神経を圧迫していると考えられます。

緑内障の原因は「肝陽上亢」

漢方では「肝」が体内の血（ここでは眼の血液循環）や水分（ここでは房水の流れ）を調整するとしています。肝と眼は密接な関係があり、肝の状態の変化は眼の異常に直結します。緑内障の症状は漢方での「肝陽上亢（かんようじょうこう）」という状態で、肝は炎症を起こしやすく、その火は上にのぼりやすくなるので、その火が眼の充血、腫れ、痛み、角膜の混濁、眩しさなどを引き起こすとされています。

います。そののぼった火を下におろすことで眼をスッキリとさせます。

この状態を改善する手助けをする「星火晴明丹（せいかせいめいたん）」が発売されました。星火晴明丹には

・石決明（セツケツメイ）

アワビ貝殻エキスのごとで、肝の機能を整え、眼をスッキリさせます。

・白僵蚕（ビヤクキョウサン）

カイコエキスのことで、眼のまわりの筋肉の強張りを取り、気血の巡りをよくして眼圧を下げる働きがあります。

・決明子（ケツメイシ）

エビスグサ種子エキスのことで、風熱による眼の充血、腫れ、痛み、頭痛に効果があります。

などが含まれ、肝のバランスを調整し眼の調子を整えます。

眼の不安は生活の不安につながります。星火晴明丹で眼の不安を取り除きましょう。

イスクラ産業株式会社

「星火晴明丹」

（健康食品）

七袋（一週間分） 一八〇〇円＋税

*一日二回朝夕食後に一袋ずつを目安にお飲みください。



(C)イスクラ産業株式会社

「星火晴明丹」についてのご相談ご質問は店頭だけでなく、お電話でも受付けております。

「こころがワクワクするとからだも元気に」

やる気がおこらない、イライラしやすい、心配事ばかりで不安、うつ、眠れない方
ケアバランスでこころを安定させ健康な毎日を送りましょう



1ヶ月分 8200円（税込）

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>